

諸人のここに学びて(16) 一校長室から見える風景一

放課後の職員室前

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

急に朝晩涼しくなりました。豊高祭、全但秋季体育大会などの大きな行事が終わり、いつも言うところの「日常」を感じます。その中で最近1学期と少し変わったなと思うのが、放課後の職員室前の景色です。以前、考査前の様子をお伝えしましたが、2学期に入り毎日勉強している生徒が増えてきました。時々、分からないことを職員室に聞きに来て、担当者が職員室前のホワイトボードを使って説明すると生徒はまた席に戻って学習を始めます。学習だけでなく、担任と短時間面談する生徒もいます。図書室も同じです。それぞれに学習に取り組んでいます。毎年変わらない景色にいよいよ入試のシーズンが始まりを感じます。

「勉強」は基本的には一人ですもの、と私は思っています。目の前の問題に向き合うのは自分しかできません。けれども、分からないことを質問できる人、アドバイスをしてくれる人、同じような目標を持っている人など周りに応援してくれる人や思いを共有できる人がいるのは大切なことです。自分も逆に誰かのそんな存在かもしれないのです。「こんなことを聞いてもいいかな・・・」「今さらだけど・・・」そういうことを遠慮なく聞いてみてほしいですね。受験は大変ですが、勉強していく中で「分かった」「できた」という思いは必ず次につながります。ぜひそれぞれの目標に向かって頑張ってほしいものです。

けれども、教科の学習や受験勉強だけでなくこれから正解がない問題や課題に向き合うことが増えてきます。そんな時は、チームやグループで、あるいは自分自身にとっての「納得解」や「最適解」を出すこともあります。そのときに、自分の知識や考える力や質問する力が大いに役立つのではないのでしょうか。卒業後と言わず、今取り組んでいる探究に関わる学びがその一つになるのでしょうか。

そんなことを考え職員室前から近くに目をやると、華道部の作品が展示されています。季節の花にほっとします。いつもありがとう。

